

## 平成30年度 射水市観光振興計画推進会議会議録

日 時：平成30年10月4日（木） 午後2時～4時頃

場 所：大島分庁舎3階 大会議室

### ■あいさつ

#### 部長あいさつ

- 平成30年3月に本計画を策定した。今年は富山新港が50周年を迎えたことから、豪華客船の寄港や新湊大橋のてっぺんを歩こうイベントも開催され、大いに賑わうこととなった。このような機会を有効に活用し、今後も射水市の魅力の発信や、交流人口の増加を図りたい。本日の委員会では、今後の計画を実施していくための活発な意見交換をしていただきたい。

### ■委員紹介（各委員、オブザーバー、出席者紹介）

#### ■会長の選任・・・（互選）

- 事務局案を求められる（委員）  
会長に委員を選任

#### 会長あいさつ

- 昔は射水の農業について研究していたことがある。しかしながら射水市は観光として訪れたことがある程度で、まだまだ勉強不足な面もあるため、委員の皆様意見を伺いながら、射水市の観光がよりよい方向に進むようにしていきたい。

#### ■副会長の選任・・・（会長指名）

- 会長より指名  
副会長に委員を選任

### ■議事

#### （1）射水市観光振興計画に係る事業の取り組みについて（資料1～4）

- 事務局より説明

#### （2）委員からの意見及び提案等について

会長：

- まず資料1（基本方針）についての意見や質問を伺いたい。

委員：

- 射水のPRを行うにあたり、基本的なことであるが、射水市民に対する周知が重要ではないか。どんなに良い計画を策定しても、市民はこの計画がどう生かされているのかなど知らないように思える。計画は市外や県外客をターゲットにした部分が多いと思うが、市民が知らないことを県外客にどんなにPRしても伝わらない。射水市のPRの第一人者である市民に計画を知ってもらうことが大切である。

会長：

- 他の市町村においても計画について市民が知らないことが多い。また2年前に学生の研究内容として映画「人生の約束」のロケに対する市民の活用をテーマとしたことがあった。しかし、結果としては「意識はほとんどない、活用したいと思ってもどう活用したらよいかかわからない」という結果であった。高齢化も進む中で難しいことではあるが、市民が自発的に行動してもらうことが大切だと感じる。また様々な事業においてターゲット（市内・県内・県外）を明確にしなくてはいけない。

会長：

- 資料2～3について何か意見はあるか。入込数等に関しては近年天候による影響が大きく検討しづらい部分もあるかと思う。

委員：

- 資料3の入込数はどのように算出しているのか伺いたい。

事務局：

- 観光施設については施設に人数を確認しているが、イベント等についてはなかなか数値を算出しづらく、前年度との比較や関連団体との協議によって定めている部分もある。

委員：

- その部分を含めた数値目標をたてているのであればどうしても感覚頼りとなってしまう、明確な問題や課題が見えてこないのではないか。もし今後の対策等あれば伺いたい。

事務局：

- 例えば新湊曳山まつりではシャトルバスの運行状況や臨時駐車場となっている海王丸パークの駐車台数等を確認するなど、可能な限り正しい数値の算出につとめたい。

委員：

- 海王丸パークの入込数については駐車場の駐車台数や海王丸への乗船者数等から算出している。イベントについても同様である。おそらくどの組織も入込に関する係数や経験値をもっており、算出しているのではないか。しかし委員の意見にもあったように、できる限り真実に近い数値にするための努力は必要である。

会長：

- 入場料が発生するものは確実な数値がわかるものの、無料のものは難しいように思える。センサーで計測するという方法もあるが、そこを行き来するだけでカウントしてしまうという課題もある。また継続性についても重要であり、今回の資料は2年分の数値であるが、10年といった長い期間で数値の増減を見ていくのがよい。過去のデータはあるのか。

事務局：

- おおよそ10年分のデータは取得している。

副会長：

- 資料1 基本戦略の施策の中で情報発信の強化及び射水ベイエリアのキラコンテンツ化について記載があり、特に力を入れている項目だと感じる。2020年には旧新湊庁舎跡地の複合施設が完成し、射水ケーブルネットワークや商工会議所もそこに移設することから深く関わっているが、全体で約4千坪ある中で建物を除けば約2千坪の土地があり、そこを一つの拠点として展開していかなくてはならない。(ホテル移設についての噂もある) 去年はまだ曖昧であったが、今年はまだ具体的な検討ができるタイミングになっている。土日の利用について例えばマルシェやフリーマーケット等集客についても想定した対応を考えていかなくてはならないと感じる。また現在道の駅に観光協会、大島地区に港湾・観光課を置き観光行政を行っているが、ピンポイントでベイエリアのキラコンテンツ化を図るのであれば、この複合施設に近い場所で一体となった情報の受発信が必要ではないかと考える。来年の4月には工事の実施計画にも着手することからそれを意識して展開を行うべきである。

会長：

- 観光という視点で見れば、一番観光客が訪れるのは観光資源の多い新湊地区であるように感じる。そこに活用できる土地があるのであれば、その展開は十分に考えなくてはならない。事務局から計画についての考えなどありましたら教えていただきたい。

事務局：

- 副会長からもあったが、射水ベイエリアをキラーコンテンツ化し、将来的にその効果を他の地区にも波及させていきたいと考えている。旧新湊庁舎については年末には更地になると聞いており、民間企業や行政機関の一部が移設する予定である。もちろん観光の拠点とするために、まずは観光協会について検討を行っている。また先日の10月1日に行われた新湊曳山まつりについてもこれまでは旧庁舎が拠点であったことから観光客の受入場所としても要望もある。さらに施設のソフト面としてマルシェやイベントにどう活用していくのかについても検討していきたい。

会長：

- 他に関連した意見があればお伺いしたい。

委員：

- 商工会議所もこの複合施設に移設することもあり、お願いにはなるが様々な観光のイベントに関して市は縦割りに業務を行っている面がある。例えば新湊曳山まつりにおいても観光課と連携し、有料の観覧席を設けているが、別の課でも表敬訪問等のための席を設けたりしている。ぜひそれぞれの課という枠を超えて協力してもらいたい。また昨日プレス発表を行ったが、射水商工会議所は日本商工会議所が選ぶ「全国商工会議所きらり輝き観光振興大賞」で奨励賞を受賞した。(県内では2015年に富山商工会議所が大賞を受賞)新湊曳山まつりの受入体制充実に取り組む「新湊曳山まつり市民プロジェクト」が高く評価されてのことである。この受賞により、11月にも他地域の商工会議所も視察に訪れるといった動きもあり、会議所としてもこの機会を生かして県外客にPRをしていきたい。また外貨を取り込み、経済を活性化し、仕事や雇用を増やすことが観光の大きな目的であるため、それを意識して計画も実施していきたい。

会長：

- 昨年まで射水の曳山まつりを観たことはなかったが、秋の曳山としてのイメージは大きい。当日だけではなく、その前後に関連イベントの実施や充実させることも有効だと思われる。またホテルについて先ほどの話にもあったが、夜にイベントを行っても宿泊施設が乏しいため観光客に逃げられてしまうことがある。南砺市や小矢部市も同じ課題をかかえており、そのことから宿泊施設誘致は重要である。長い目でみて、通年観光化していけるようにしなくてはいけない。

会長：

- 資料4を含め他に意見があれば、いただきたい。

オブザーバー：

- 前計画に携わっており、記憶として若い年代の観光客のためにもWi-fiがつなが

る観光施設の有無について議論があったが、現在の状況はどうなっているのか。  
また提案として、資料4には平成29～30年度の事業実施について記載があるが、この中で特に力を入れていくべき点を絞るのがよいと思う。他にこの内容を見ていると若者に向けた事業が少ないように感じる。例えば最近であればコスプレの聖地やボルダリングの聖地という言葉が飛び交い話題となっている。そういった若者が興味を示すような内容を盛り込めたらよい。また射水ベイエリアには子供向けの施設が少ないのではないかという意見もあった。

事務局：

- 質問のあったWi-fi整備については新湊きつときと市場や川の駅、小杉駅や大門駅でも整備されているが、太閤山ランドや新湊大橋等にはまだ整備されておらず、他の観光施設も今後検討していきたい。また今年度中には海王丸パークで整備されるということも聞いている。

会長：

- スマートフォンを使用する人、特に若者や外国人観光客にはデータ容量の制限があることから重要視されている。観光客が多く訪れる施設にはできる限り整備ができればよい。先日伊勢神宮を訪れる機会があったが、ホームページ内の地図に撮影禁止箇所だけでなく、撮影スポットの記載があり、Wi-fiも整備されていた。神聖で厳かなイメージがあったが、そういった観光地もメリハリをつけているように感じる。若者だけではなく多くの人がインスタグラムを使用していることから、インスタ映えも重要ではあるが、住民の中には個人の住宅を撮られたくないという人もいるため、マップ等を作る際には考慮しなくてはならない。

副会長：

- Wi-fiはそんなにたくさんの場所につける必要はない。ポイントを絞って設置すべき。昨年の策定委員会でもお伝えしたが、運行している万葉線にルーターをつけるだけでもWi-fiは利用できる。特にドラえもん電車については県外客や外国人観光客に人気のため、実施すべきである。近頃はへたに看板を設置するよりもQRコードとWi-fiの方が利用される傾向もあり効果は高い。

会長：

- 追記になるが、今はタグ付けやインスタ投稿を推奨している施設が多い。注意書きとしてフラッシュ禁止とあっても撮影自体は推奨しており、わざわざ記載することで注目を集めて観光客に宣伝させている。このようにSNSを使ってうまく無料で宣伝（拡散）させるためにもWi-fiは重要視される。

事務局：

- 会長のおっしゃるとおりWi-fi整備やSNSによる発信強化は重要だと考えて

いる。万葉線についても台湾人の観光客が増加していると聞いている。整備について関係課とも協議していきたい。

委員：

- 今年度新規事業としてVR観光動画の作成とあるが、その具体的な内容についておうかがいしたい。

事務局：

- 本市の観光資源であるベニズワイガニ、そして貴重な昼セリをメインとして考えている。また内川の遊覧についても検討している。VR動画はゴーグルを付けて360°その景色等を体感することができるものを考えている。

委員：

- これから冬にかけてはベニズワイガニが並ぶ光景が見られるが、夏になるとどうしても海産物が並ぶ量が減る現状である。その際にVR動画を使用して冬の様子を楽しんでいただくのも漁業者としてはありがたいので、ぜひ作成していただきたい。

会長：

- 先ほども資料4の取り組みの中で事業を絞ったほうが良いという意見があったが、そのことについて提案等はあるか。

委員：

- 基本戦略Ⅱの中で射水ベイエリアから市内への回遊性の向上について、小杉地区の下条川や旧8号線のその場に舟付場があるが、観光的な面での利用をしていくのか。また交通に関して、富山県西部からは万葉線等の手段があるが、東部からの交通手段は少ない。コミュニティバスのPRを含め、小杉駅にホテルができることからぜひ交通網の整備を行っていただきたい。

事務局：

- 下条川については順次整備を進めている。将来的には富山新港から船の行き来も考えており、小杉駅からの交通も整備してより観光客への受入整備に努めたい。

会長：

- 東からの交通は車しかないようなイメージがある。あいの風富山鉄道の方でも何か新しいタイアップ等の予定があれば教えてほしい。

委員：

- タイアップは凧まつりのようなイベントでの実施の他、万葉線や加越能バスと連

携した周遊切符を販売しており、ベイエリアへの誘客にも効果的だと感じている。またあいの風とやま鉄道では来年度観光列車を運行する予定である。小杉駅も停車し、特産品等をPRするスペースやイベントもあるため、ぜひ観光列車を活用していただきたい。また車内で提供されるサクラマス料理についても検討していたが、寿司にしても美味しく観光客からの反響も期待できると感じた。

委員：

- イベントのタイアップ切符を使用したことがあるが、駅員が切符について知らずにいた。交通事業者との情報交換をしっかりと行い、生かしてほしい。

委員：

- ターゲットを絞るという意見が先ほどあったが、昨年の策定委員会でも言及していたように、外国人旅行者は増加していると感じられる。また先日行われた新湊大橋のてっぺんを歩こうウォークでも実際に従事していたが、若者は少なく、高齢の参加者が多かった。観光施設である新湊きつときと市場でも県外のバスツアー観光客の受入は多いがほとんどが高齢者である。国内のインバウンド・アウトバウンドについても意識し、高齢者をターゲットにすることや高齢者にとって訪れやすい環境を整えることも重要だと考える。  
このため高齢者に優しい観光地づくりも必要で、広告媒体もデジタルだけでなくアナログ的なものも必要だと思われる。

会長：

- 若者も結構アナログを使用している。金沢のまち歩きの際に何を使用するかという調査を行った際に、意外に若者も地図の看板や紙のマップを使用していた。デジタルの場合にはデータ通信の制限や携帯電話の電池が無くなってしまうためである。また委員の意見にあったとおり、現状外国人や高齢の旅行者の占める割合が大きくなっているため、受入のための対策は避けられないものである。

会長：

- 他に意見はあるか。

委員：

- 旅行会社とJRの両方の面で仕事を行っている。委員の皆さんの意見を聞いており、射水市の強みを生かすためには、どこをターゲットにするかを明確にしてほしい。例えば以前に新湊地区のCMも放映した大人の休日倶楽部（230万人）があるが、高齢の旅行者の需要は高くなっている。しかしながら、求めるものはそれぞれ異なっている。（例としてニッチな場所を訪れたい会員や安くて何度も行く旅行を望む会員など。）媒体についてもそういったことを意識して選択してほしい。また先ほど話のあった観光列車については、全国でも多くの実証例があ

るが、地元の協力が不可欠なため、しっかりと協力して行ってほしい。

また昨年に引き続き、カニを食べに北陸へというキャンペーンを行い、誘客を図っている。北陸3県合同のカニのキャンペーンだが、関西圏に比べて首都圏ではカニを食べに観光地を訪れるというイメージが定着しておらず、そのイメージを作り出したい。射水市の特産品であるベニズワイガニは他のカニよりも早く9月から解禁になるため、先駆けて特別なポスターも作成し露出を行っている。

委員：

- 射水市には観光客用の宿泊施設が乏しい。小杉地区には新たに宿泊施設もできると聞いているが、宿泊施設の誘致や民泊についても検討していくべきである。宿泊してもらうことで、夜に観光客を逃がさず、消費拡大につなげることができる。また射水市の交通の拠点としては小杉駅があげられるが、物産施設等はない。駅構内や周辺にそういった施設を増やす取り組みを行ってほしい。また小杉駅から新湊地区へのコミュニティバスが運行しているが、非常にわかりづらいという意見があり、改善して利用しやすい運行形態としてほしい。

委員：

- 資料4で感じた違和感が2つある。戦略として射水ベイエリアのキラーコンテンツ化とあるが、そのためのブラッシュアップをどこでするのか。また回遊性の向上とあるが、何をもって向上させるのかがわからなかった。また毎年実施されるイベント等の補助も必要ではあるが、それ以上に観光地や文化財等の保全をしていくことは重要であり、単年度で実現できないものが多いと感じる。例えば現在は新湊曳山まつりを重要文化財へ指定する取り組みなども行われていると思うが、景観や文化を守るための事業が他にもあるかと思うので、その取り組みを知ってもらうためにもこういった場で資料に記載するなどして公表してほしい。市民も価値の保全に関する取り組みがほとんど無いような印象を受けてしまう。

具体的な提案としては回遊性については、きららか射水観光NAV Iを活用してはどうか。観光地等の情報収集はアナログもあるが、やはり若者を中心としてスマートフォン等を活用することが圧倒的に多い。調べた情報をもとに観光施設等へ訪れる観光客はいるが、その後には少し周辺を散策し帰ってしまうことも多い。例えばモデルコースを作るまでしなくても、現在観光施設が掲載されているページに周辺のみどころや観光スポット情報を追加することで、滞在時間が延びるのではないかな。

実際に新湊大橋のてっぺんを歩こうイベントで、マップの作成に携わったが、高所から眺めた際に新湊弁財天や展望台の存在に初めて気づいたという意見があった。マップにはポイントの記載はあったものの、写真等もなくせっかく射水ベイエリアを訪れていただいたのに勿体無いと感じた。そういった情報をもう少しプラスすることで回遊性にもつながると思われる。



会長：

- 大変貴重な意見等伺った。今回伺ったご提案、ご意見を活かした形で、来年度以降の事業に反映していきたい。最後にオブザーバーより意見をいただきたい。

オブザーバー：

- 委員から多くの意見が出されたと思う。県立大学からの提案でもあるが、先生達は様々な研究を行っており協力も可能である。例えば先ほど入込数がわかりづらいという課題については画像処理を専門としている先生に依頼すれば、定点（駐車場等）の画像からデータ収集や解析等は可能である。また高齢者世代を重点的に攻めるのであれば、歩行器を製作している先生もおり散策補助に使用すればどうか。また意見交換の中にもあったが、イベントの内容の改善だけではなくインフラ自体の整備も重要である。

#### **副会長閉会あいさつ**

副会長：

- 活発な議論を行えたかと思う。会長から曳山についても触れられていたが、実は今年の新湊曳山まつりに富山県知事も訪れており、初めて見た提灯山に満足していただいた。現在教育委員会が2020年に国指定文化財とするために始動しているとも聞いており、それに併せた準備も必要かと思われる。議論の中でターゲットやニッチということも聞かれたが、観光に関して多様化している印象を受ける。例えば需要が少なくともその聖地までなれば人は集まってくることになり、射水のそれを探すことも課題の一つである。行政だけでなく我々も含め今後計画のDO（実施）を行っていかなくてはいけないと感じた。

会議終了

